

平成 22 年度 暁木会 第 1 回役員会 議事録

1. 日 時：平成 22 年 5 月 18 日（火） 18:00～20:00
2. 場 所：兵庫県民会館 1101 号会議室
3. 出席者：南部会長,尾原副会長,水口副会長,濱村常任幹事,伊藤常任幹事, 荒瀬会計幹事,
野並会計幹事
山本顧問,中村顧問,宮永顧問,石谷顧問,田村顧問,松下顧問,本下顧問,田中顧問
(欠席：寺谷常任幹事)
4. 議事内容
 - 1) 総会の総括(資料－1)
 - ① 学生表彰は、総会が段取り良く進行するのであれば、総会の中で行う方針でよい。
 - ② 懇親会の四重奏は、演奏する側は喜んでおり、出席者にも好評であるとの意見がある一方で、ほとんど聞いていないような状況は、演奏者に失礼ではないかとの意見も根強い。
⇒来年の総会では演奏をお願いしない方向で検討する。
 - ③ 卒業生の名簿配布は、大学決議で見送られたが、今後もお願いしていく。
 - 2) 神戸大学・暁木会意見交換会(資料－1)
 - ① 前項③に関し、就職先も含めた名簿の配布をお願いしていく。
 - ② 大学への研究助成金は、昨年度同様の金額（40 万円）で了解される。
 - ③ 意見交換会には暁木会からも多くの参加をお願いしたい（会長より）。
 - 3) H22 年度行事予定(資料－1)
 - ① 特に意見なく、昨年同様の行事を計画する。
 - 4) 会員増強方策,名簿発行の準備について(資料－1)
 - ① 入会のメリットPR,興味を引くニュースの採用で若い人を勧誘する。
 - ② 入会しない人(特に若い人)は、勧誘してもなかなか入会しない。抜本的な増強策の検討が必要である。
 - ③ 各学年が会長を引き受けるシステムにすれば、会員増強につながると思われる。
 - ④ 採算性の検討が必要であるが、終身会員制の導入も検討したらどうか。

5) 規約改正(会長任期変更)について(資料-1)

- ① 来馬顧問の意見紹介(資料-2,会長任期2年の原案でよい)。
- ② 会長任期1年では会を束ねていくことに支障が出る。
- ③ 職域ではなく1年毎に学年で会長を決めていくのが良い。会長を支えるために多くの同期が会に関与し、会の意義を理解する人が増えてくる。このことは、会の活性化ひいては会員の増強につながる。
- ④ 事務局の幹事を増やして役割を明確にし(4役×3名程度)、合議制を保てば会長任期は1年でも良い。
- ⑤ 幹事を増やす場合は、幹事長(任期2年以上)をおいて運営する必要がある。
- ⑥ 事務局を束ねる幹事長を新たに設ける場合、会長との役割の割り振りは慎重に行うべきで、副会長が幹事長の役割を担う方がむしろすっきりする。
- ⑦ 現在の役員メンバーを基に、任期をラップさせて会の運営ノウハウを継承していく運営を行えば、スムーズに移行・運営できると思われる。
- ⑧ 会の活性化を最大の目的として運営の仕組みづくりを行い、その後で規約の変更を行えばよい。

⇒本日の意見を踏まえて役員内で議論を重ね、9月の役員会で再度顧問の方々に意見をいただくことで進める。なお、結論を出す期限は今年に限らなくても良い。

以 上